

令和 7 年中標津町議会 1 2 月定例会 委員会代表質問要旨

通 告	質問委員会 質問議員	質問事項・質問要旨	答弁を 求める者
1	総務経済常任委員会 5 番 ひらやま ひろみ 平山 光生	町民の避難行動と広域避難を見据えた災害対応力の強化を	
		1) 防災DXと教育訓練・情報共有体制の強化について	
		最近では本町でも冠水被害が発生したが、町民が「どのような情報を見て、どのような行動を取ればよいか」が分かる仕組みが不十分ではないか。学校教育でのマイタイムライン導入や、防災情報の可視化、防災備蓄品の公開と情報基盤の整備、協力体制の構築など、防災DXを総合的に進めるべきでは？	町 長
		2) 自主防災組織の再構築について	
		本町では町内会が自主防災組織として位置づけられていることへの町民理解及び実感が薄く、共助機能は弱体化している。自主防災組織の再定義と見える化を実施し、組織を立ち上げやすいようにホームページを活用した推進・支援の強化を実施するべきでは？	町 長
		3) 災害時のトイレ整備について	
		避難所ではトイレの不衛生・寒さ等により水分摂取を控える行動が生じ、災害関連死につながる健康被害の恐れが確認されている。町計画でも仮設トイレの最大必要基数145基の確保は困難とされているため、災害時のトイレ整備は喫緊の課題と考える。不足するトイレの整備と冬季における運用をどのように進めていくのか？	町 長
		4) 事前復興計画の策定について	
		周辺自治体が甚大被害を受ければ商圈縮小・物流停滞により本町の人口流出・地域維持に影響が及ぶ。本町は広域避難者の受け入れや後方支援の役割を担うことが求められ、避難場所の指定や近隣町との協定締結を進めることが今後の課題と考えるが、広域避難者受け入れや後方支援を見据えた事前復興計画策定の考えは？	町 長

令和 7 年中標津町議会 1 2 月定例会 委員会代表質問要旨

通告	質問委員会 質問議員	質問事項・質問要旨	答弁を 求める者
2	文教厚生常任委員会 2 番 あべ さき 阿部 沙希	町民に望まれる子育て支援環境の整備を	
		1) 5 歳児健診導入で前向きな学校生活を	
		当町では 3 歳児健診以降の健診機会がなく、発達の遅れが小学校入学直前に判明し対応が遅れる課題がある。5 歳児健診の導入は早期発見・支援の出発点となり重要であるが実施予定が未定の状況となっている。当町としての検討状況や必要性への認識は？	町 長
		2) 小児医療費助成制度の拡充を	
		当町では小児医療費助成制度が北海道基準にとどまり、独自の拡充が未着手となっている。管内他自治体に比べて制度整備が遅れていることから、子育て支援充実のため義務教育期間（15 歳まで）の医療費無償化を段階的に進めるべきでは？	町 長
		3) 親子が救われるショートステイ制度の整備を	
		子育て短期支援のショートステイ制度は、親が安心して子どもを預けられる環境を提供し、育児負担の軽減やネグレクト予防に寄与する重要な施策である。共働き世帯やひとり親家庭の支援として、制度の充実と整備についての見解は？	町 長